

# 2024年度 東京応化科学技術振興財団 個別報告書 09

開催日時	2024年10月12日(土)		開始時間	10:30	終了時間	11:30			
開催場所	上溝南子どもセンター								
実施内容	種モデル								
人数	幼児	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中学生	計
	2	10	5	2	1			2	24
スタッフ	5名	実施機関スタッフ			名	付き添い保護者2名			

## 1 概要

子どもたちが職員に導かれて、ぞろぞろと会場に入ってくる時、「やりたくない！」という声がいくつも聞こえ、とっさにスタッフが機転を利かせて飛ばしたアルソミトラがヒラヒラと会場内を舞う姿を見て子どもたちの目の色が変わった。おそらく、子どもたちはこれからやる内容について、事前に言葉では聞いていてもイメージが掴めなかったのだろうと思われる。目の前に広がる光景に、心が奪われたのだろう。言葉だけでは伝わらないモデルが子どもたちの心に訴える力の大きさを印象付けられた一コマで、今日の授業の幕が開けられた。

## 2 実施内容

付き添い保護者を含めて24名が、4群のテーブルについて、それぞれのテーブルにスタッフが一人ついて授業が進められた。

始めに、スクリーンに投射した映像(画像)を使い、私たちのように自分で動けない植物が、風の力やその他に頼って、仲間を広い範囲に増やしているしくみについての説明を聴いてもらった。

風の力で舞い飛ぶ植物の種のさまざまな様子を見てもらい、その後、自分たちの手で、その中のカエデ、ニワウルシ、ボダイジュ、アルソミトラの4種類の種モデルを作って飛ばしてみた。

## 3 良かった点、課題点など

「やりたくない」と言っていた子どもたちが、一転して「作りたい、作りたい」と夢中になって次々と種モデルの工作に取り組み、飛ばして遊んでいた。

風のない屋内では、ひらひら舞わずに急降下するケースが多かった。おもり(種)となる、クリップやプラスチックビーズを軽いものに変えて、舞い落ちかたが変化することを実感してもらう教訓になった。風の力の疑似体験として、屋内での授業の場合には、扇風機などの利用も検討して見たら良いと思った。季節によって、エアコンの風が邪魔に感じられた時もあったが、今回は暑くも寒くもない適温で、無風状態だった。

